

掲載日	配分機関名	事業名	対象分野	助成金額 及び 助成件数	公募期間 (締切日)	応募方法	備考
2025年05月16日	山崎香辛料振興財団	2025年度 研究助成金	①香辛料の成分研究 ②香辛料の機能性研究（生活習慣病予防、老化抑制、生理機能への効果等） ③香辛料の栽培・育種に関する研究 ④香辛料の調理・加工・応用に関する研究 ⑤香辛料の香りに関する研究 ⑥香辛料の社会科学、人文科学分野の研究 ⑦その他、助成の趣旨に沿っている研究 ※③、⑥では、産地における気候変動対策、サプライチェーンにおける社会課題対策等の”香辛料の持続可能な未来に向けての研究”を含む。	1件で1年あたり最大100万円	2025年5月31日（土）	電子申請システム（Graain）のアカウント登録をし申請手続きを行う。	
2025年05月16日	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	医療経済機構2025年度（第29回）研究助成	①医療保険及び介護保険に関する研究 ②診療報酬及び介護報酬に関する研究（①を除く） ③医療・介護産業の提供体制に関する研究 ④医療・介護産業に関する研究	1件当たり概ね50万円～100万円を予定	2025年6月20日（金） 必着	所定の研究計画書および共同研究同意書に必要事項を記入し、事務局にE-mailで送付 事務局： grant@ihp.jp	
2025年05月16日	公益財団法人 野村マネージメント・スクール	2025年度 学術研究支援（研究助成）	経営者教育、経営学、コーポレート・ファイナンス（投資家視点でのコーポレート・ガバナンスに関わる研究も含む）、AIやデジタル技術を活用した企業変革（DX・AI、データ戦略）に関する調査・研究プロジェクトに助成します。純粋にアカデミックな研究も対象になりえますが、研究成果として、企業の先進事例や経営課題を提示するなど企業経営者及びマネージャーの教育や育成に資する实际的・実務的な研究を優先します。海外出張を含む調査・研究は助成の対象となりますが、海外在住の研究者をわが国に招聘するプロジェクトは対象としておりません。 調査方法についても文献調査だけでなく、アンケート調査やデータ分析、企業ヒアリング調査、企業ケーススタディ、実験などを通じて、オリジナルな調査成果を提示できる調査・研究を優先します。	1件当たりの限度額は300万円 助成金の総額は最大で1000万円をめどとします。	2025年6月30日（月） 17：00（日本時間）必着	当法人のホームページより、電子申請	

2025年05月16日	公益財団法人　ファ イザーヘルスリサー チ振興財団	2025年度ヘルスリサーチ 研究に関する第34回助成 案件公募	1. 制度・政策 ➤ 医療・介護サービスの質の確保に関する制度の研究 ➤ 社会保障制度・政策の研究 ➤ 薬価・薬事制度の研究 ➤ 人口減少社会における保健医療福祉の研究 ➤ 法制度の研究、など。 2. 医療経済 ➤ Pharmaco Economicsの研究 ➤ 医療経営に関する研究 ➤ 医療の「効果」測定のあるり方に関する研究 ➤ 医療における「費用」概念とその測定方法についての再検討研究 ➤ 医療におけるイノベーションの評価方法に関する研究、など。 3. 保健医療の評価 ➤ VBM（value based medicine）の適用に関する研究 ➤ 医療ビッグデータ利活用に関する研究 ➤ 文化・制度の違いによる疾患治療の相違の国際比較研究 ➤ 保健医療のOutcomeの研究 ➤ 医療福祉経営における品質管理手法の研究、など。 4. 保健医療サービス ➤ 患者・家族・支援者の精神的ケアの研究 ➤ 保健医療サービスにおけるヘルスプロモーション等の研究 ➤ 在宅医療を含む医療施設の機能評価の研究 ➤ 情報化社会の保健医療に及ぼす影響の研究 ➤ 患者の受診行動とヘルスコミュニケーションの研究 ➤ 保健医療における危機管理の研究 ➤ 災害時における危機管理と被災者および医療者の精神的ケアの研究 ➤ 国際協力に関する研究 ➤ 高齢者など社会的弱者に優しい街づくりに関する研究 ➤ 新興・再興感染症等の管理のあり方に関する研究、など。 5. 保健医療資源の開発 ➤ 医学教育を含むヘルスマンパワーの研究 ➤ 我が国の医学教育・医学研究に関する研究（統計リテラシー、AIリテラシー等） ➤ イノベーションに関する諸問題の研究 ➤ 新薬開発のグローバル化と薬事政策に関する国際比較研究 ➤ 医療と知的財産権に関する研究、など。	・国際共同研究　上限300万 円×8件程度 ・国内共同研究（年齢制限な し）　上限130万円×14件程 度 ・国内共同研究（満39歳以 下）　上限100面円×14件程 度	2025年6月30日（月） 17時まで（締切り時間厳 守のこと）	財団ホーム ページの応募 サイトから応 募	
-------------	---------------------------------	---	---	--	--	---	--

			6. 医療哲学・医療倫理 ➤ 地球環境に関連したヘルスリサーチ ➤ 尊厳死・死生観に関する諸問題の研究 ➤ 医療倫理・生命倫理に関する研究 ➤ 超監視社会とパンデミック対応に関する研究 ➤ 個人情報と社会インフラに関する研究 ➤ 国際機関の政治倫理に関する研究 ➤ 格差拡大と医の倫理に関する研究、など。				
2025年05月16日	公益財団法人 安田 記念医学財団	癌看護研究助成	癌看護の研究助成及び人材育成を図り、癌看護ケアの水準の向上と国民の健康福祉の増進に寄与することを目的とする。	A 1件以内 1件100万円 B 8件以内 1件50万円	令和7年6月30日（月） （期間内到着厳守）	癌看護研究助成申請書を本財団のHPよりダウンロードし、郵送またはメール（PDF添付）にて提出	
			1.基礎：情報・通信に関する基礎的な調査・研究 （例）計算量理論、アルゴリズム理論、量子計算理論、暗号理論、統計的学習理論、符号理論等 2.通信・インターネット：情報通信網・通信技術等に関する調査・研究 （例）インターネット、ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、ユビキタスネットワーク、モバイルネットワーク、センサーネットワーク、セキュリティ、Web技術、サービス構築基盤技術、ネットワーク運用技術、無線通信技術、高速通信等 3.コンピューターシステム：情報システム・コンピューター科学等に関する調査・研究 （例）計算機アーキテクチャ、基盤ソフトウェア、プログラミング言語、ウェアラブルコンピューティング、クラウドコンピューティング、データベースシステム、ビッグデータ活用技術等				

2025年05月16日	公益財団法人 大川 情報通信基金	2025年度（第39回）研究 助成	4.人工知能：知識処理、認知科学等に関する調査・研究 （例）知覚（視覚、聴覚、触覚）、認知・記憶・教育、学習、思考・推論・問題解決、感性、複雑系、知能ロボット、感情コンピューティング、アドバンス、インテリジェンス等 5.バイオ：バイオ技術に関連する研究のうち主に情報・通信に関連する調査・研究 （例）バイオインフォマティクス、計算生物学、システム生物学、メディカルインフォマティクス等 6.応用（A）：主に情報・通信に関する工学的な応用調査・研究 （例）画像、音声、言語、パターン認識、ロボティクス、マルチメディア、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション（VR・MR、ユーザビリティ、五感情報処理等を含む）、サイバーフィジカルシステム等 7.応用（B）：医療、福祉、教育、芸術等における情報・通信技術の適用に関する応用調査・研究 （例）ヘルスケア、遠隔治療、遠隔生活習慣改善援助、情報環境、減災・復興支援、スマートシティ、スマートグリッド、ライフログ、社会ネットワーク、デジタルコンテンツ、デジタルアート、エンタテインメント等 8.人文・社会科学：情報・通信、メディア等の社会への普及、影響等に関する調査・研究 （例）デジタルヒューマニティーズ、ビジネスモデル、情報経済、オープンソース、ソーシャルメディア、著作権・ライセンス、eコマース、デジタルコンテンツ、デジタルアーカイブ、ブロックチェーン、デジタルツイン、プライバシー問題、生成AIなどの情報技術に関わる規制や政策、倫理および社会影響等	1件あたり100万円	2025年7月10日（木）必 着	「研究助成申 込書」をダウ ンロードし、 必要事項を記 入し財団事務 局に郵送	
-------------	---------------------	---------------------------------------	--	------------	---------------------	---	--

2024年06月18日	公益財団法人 お酒の科学財団	2026年度 お酒の科学財団研究助成	1.一般研究領域 (1) 臨床・精神医学領域 お酒による人の精神および脳への影響、疾病に関する発症要因の究明、当該疾患の予防・支援・看護・治療法の確立等を目的とした研究領域とする。 (2) 臨床・内科学領域 お酒による人の内臓諸器官への影響、疾病に関する発症要因の究明、当該疾患の予防・支援・看護・治療法の確立等を目的とした研究領域とする。 (3) 公衆衛生学領域 お酒による公衆衛生上の諸問題に関する実態調査、要因の究明、これら諸問題の予防法の確立等を目的とした研究領域とする。 (4) 心理学領域 お酒による人の心理（欲求・情動・感覚・行動等）への影響に関する実態調査、要因の究明等を目的とした研究領域とする。 2.特定研究領域 年度毎にお酒の健康影響に関する特定の研究領域を設定する。 2026年度は『ICTやAIを活用したお酒による健康影響の評価やお酒による諸問題の解決につながる介入に関する研究』とする。	研究助成金額は2年間（2026年4月から2028年3月末まで）で上限400万円です。 各研究1件ずつ、合計5件を予定。	2025年7月25日（金） 17：00（JST）厳守	当財団のホームページ掲載の「研究助成申請書」をダウンロードし必要事項を記入しメールにて応募	
2025年05月16日	公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団	2026年度アジア・オセアニア研究助成	A.調査研究助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動を助成します。 B.国際学術交流助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等に関する国際会議・シンポジウムの開催を支援します。 C.出版助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の調査研究成果にかかる出版の刊行を支援します。	A.個人研究 50万円～100万円（万円単位） 共同研究 50万円～200万円（万円単位） B.国際学術交流助成 50万円～200万円（万円単位）金額は案件毎に査定します。 C.出版助成 50万円～120万円（万円単位）金額は案件毎に査定します。	2025年5月19日（月）～ 2025年7月31日（木） （必着）	所定の「申請書」（Excel）を作成し、完成後Excelシートをそのまま財団へ電子メールにて送付 josei@resona-ao.or.jp	

2025年05月16日	公益財団法人　りそ なアジア・オセアニ ア財団	2026年度りそな環境助成	A.若手枠：アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。 ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。 〈対象事業〉 環境テーマは、特に範囲を定めません。 環境保全活動、自然との共生活動、自然再生活動、生物多様性保全活動、環境へ配慮したものづくり、資源循環の仕組みづくりなど地域環境を考慮して未来へ繋げることができる事業。 ※日本における活動のみの場合は、対象となりません。 B.一般枠：アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。 ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。 〈対象事業〉 環境テーマは、特に範囲を定めません。 環境保全活動、自然との共生活動、自然再生活動、生物多様性保全活動、環境へ配慮したものづくり、資源循環の仕組みづくりなど地域環境を考慮して未来へ繋げることができる事業。 ※日本における活動のみの場合は、対象となりません。 C.普及枠：りそな環境助成を受けて成果を挙げた事業における他地域への普及活動や広報活動。 ※広報事業とは、当該助成活動の映像化や出版物の作成などを指す。	A.若手枠　1～2件　70万円/年 （上限） B.一般枠　3～5件　120万円/ 年（上限） C.普及枠　1件　100万円/年 （上限）	2025年5月19日（月）～ 2025年8月29日（金） （必着）	申請書類 （「申請書」 と「事業説明 書」の2種類） を作成し、完 成書類をデー タファイルで 電子メールに て送付 kankyo@reso na-ao.or.jp	
-------------	-------------------------------	-------------------------------	---	---	---	--	--